

D X データセンター活用研修【発注者用】
到達度テスト

問題文の内容が正しいと思う場合は「○」、正しくないと思う場合は「×」を記入してください。

NO.	問題文	回答欄（○×）
1	3次元モデルの活用には、①過去データの入手・参照が困難、②専用ソフト等が必要であり調達・使用にあたり負担が大きい、③データ容量が大きく共有が困難といった3つの課題があり、それらを解決するための手段としてD X データセンターを開設しています。このため、誰でも自由にアクセスして利用することができます。	
2	DX データセンターは3次元モデルの活用促進のためのシステムのため、誰でも利用ができます。	
3	受注者が DX データセンターを利用するには、まず最初に、発注者が工事・業務の契約後に、D X データセンターポータルサイトで、工事・業務情報を登録する必要があります。	

D X データセンター活用研修【発注者用】

到達度テスト

解答・解説

D X データセンター活用研修【発注者用】
到達度テスト 解答・解説

NO.	解答	解説
1	× (利用にあたっては発注者からの ID・パスワードが必要)	受注者の負担軽減を図るためにも DX データセンターの活用が重要ですが、利用にあたっては、発注者からの ID とパスワードの付与が必要です。
2	×	利用対象者は、国土交通省職員および業務・工事に関係している民間事業者が対象です。
3	○ (受注者の利用に関しては発注 者の登録や承認が必要)	発注者が契約後に D X データセンターポータルサイトで、工事・業務情報を登録することで、受注者の方へ利用のための ID と仮パスワードが自動で送信されます。契約業務や工事以外のフォルダ等へのアクセス等に関しては発注者の承認が必要となります。